

# 令和5年度 清瀬市「命の教育」フォーラム

清瀬市立小・中学校では、「教育総合計画マスタープラン」の方向性9「豊かな心と撓（しな）やかで強（したた）かな心の育成」に係る取組として、「命の教育」を行っております。「命の教育」とは、生きていくことに喜びを見出し、自他の生命を尊重する心を育む教育です。

各学校では、各教科の学習や行事などの教育活動全体で取り組む道徳教育を軸に「命の教育」に取り組んでいます。特に、「生命の尊さ」や「よりよく生きる喜び」、「相互理解、寛容」、「様々な文化の理解」等について考え、これからの社会を生きる上で大切となる自他の生命を尊重する心や人権感覚などを育むことを目指しています。子供たちが、授業の中で様々なことを感じながら、「自己を見つめる」、「物事を多面的・多角的に考える」、「自己の生き方についての考えを深める」ことを大事にしています。

先日、こうした「命の教育」の取組のさらなる推進を目的に「命の教育フォーラム」を開催しました。地域の皆様や学校関係者をはじめ、たくさんの方にご来場いただきました。

## 「命の教育フォーラム」

令和6年1月27日（土）午後2時から午後4時30分まで  
清瀬市児童センター ころぼっくる ホールにて開催

### 第1部 「いじめ」をテーマとした講演会

講師 清瀬市教育相談室 吉田 章子 氏

### 第2部 清瀬市立小・中学校の取組発表

前半 芝山小学校の児童による今年度の取組の発表

後半 市立中学校5校の生徒会による「いじめをなくしていく取組」

についての各校の報告及び公開協議

（コーディネート校 清瀬第二中学校）

～当日アンケートの感想から～

- いじめについて、相談の仕方や相談された時の対応の仕方などを知ることができて、とても勉強になりました。（中学生）
- いじめに関わる人たちの心の中や考えが理解できてよかったです。いじめている人、いじめられた人、周囲の人たち、全ての人々が心理的に影響ある当事者なのだと思い、ケアの大切さを感じました。（地域）
- 性、病気、人種など様々な内容について語っていて、とても考えさせられました。（中学生）
- いろいろなテーマに対して「こう思った」から「解決するには何ができるか」まで考えているところが、今後につながると思いました。（地域）
- 中学生らしく立派な発表でした。いじめは誰も知っていて昔からあるものですが、なかなか無くなりません。どのような対策をするか、五校交流を通しての意見交換が活発に行われており、とても有意義だなと思いました。（保護者）
- それぞれ、アンケート結果を分析しているところなど、深めているところや具体的な提案があって、とてもよい発表でした。（地域）

